

備前市在宅医療・介護連携推進協議会（第1回）

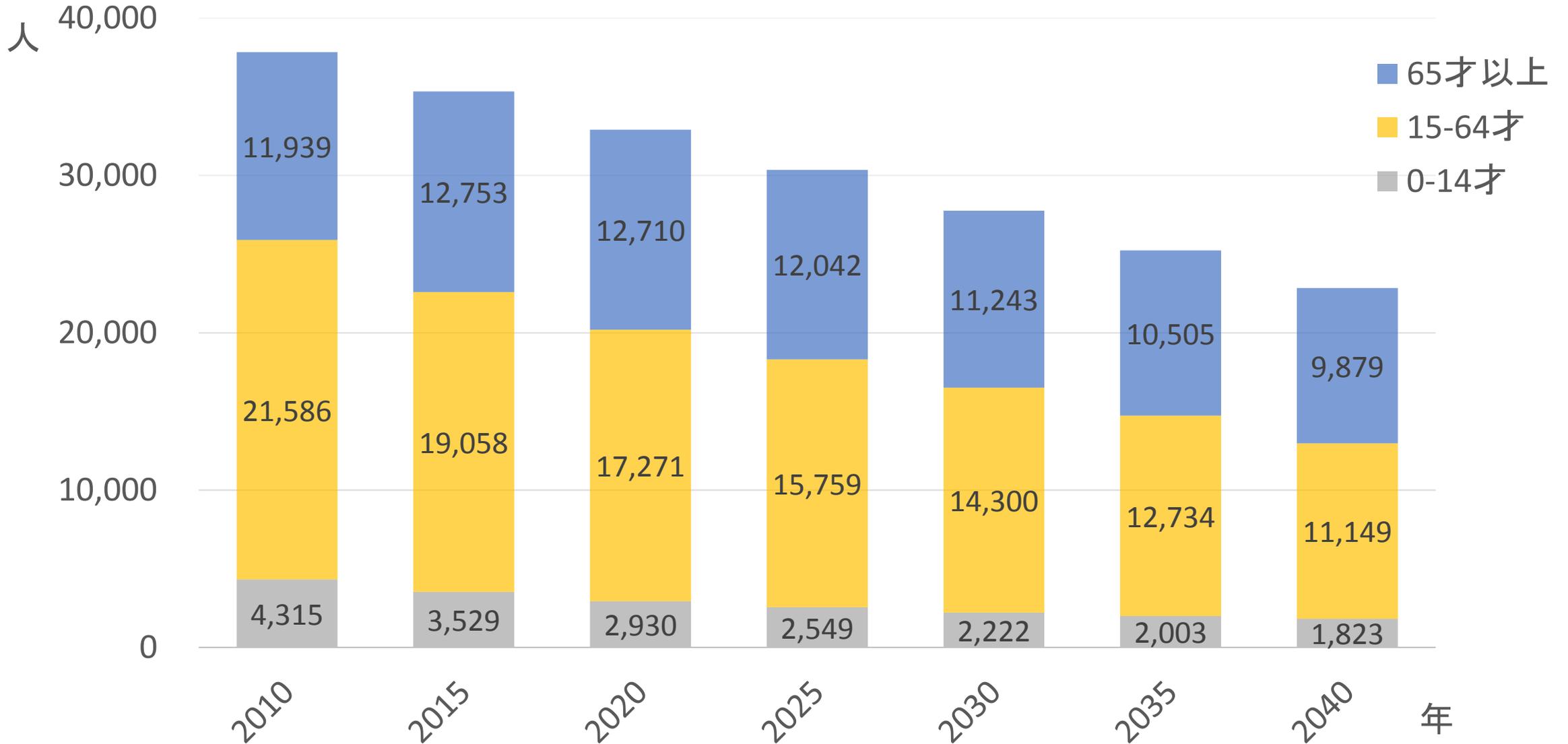
平成28年7月4日（月）

備前市保健福祉部医療福祉連携課



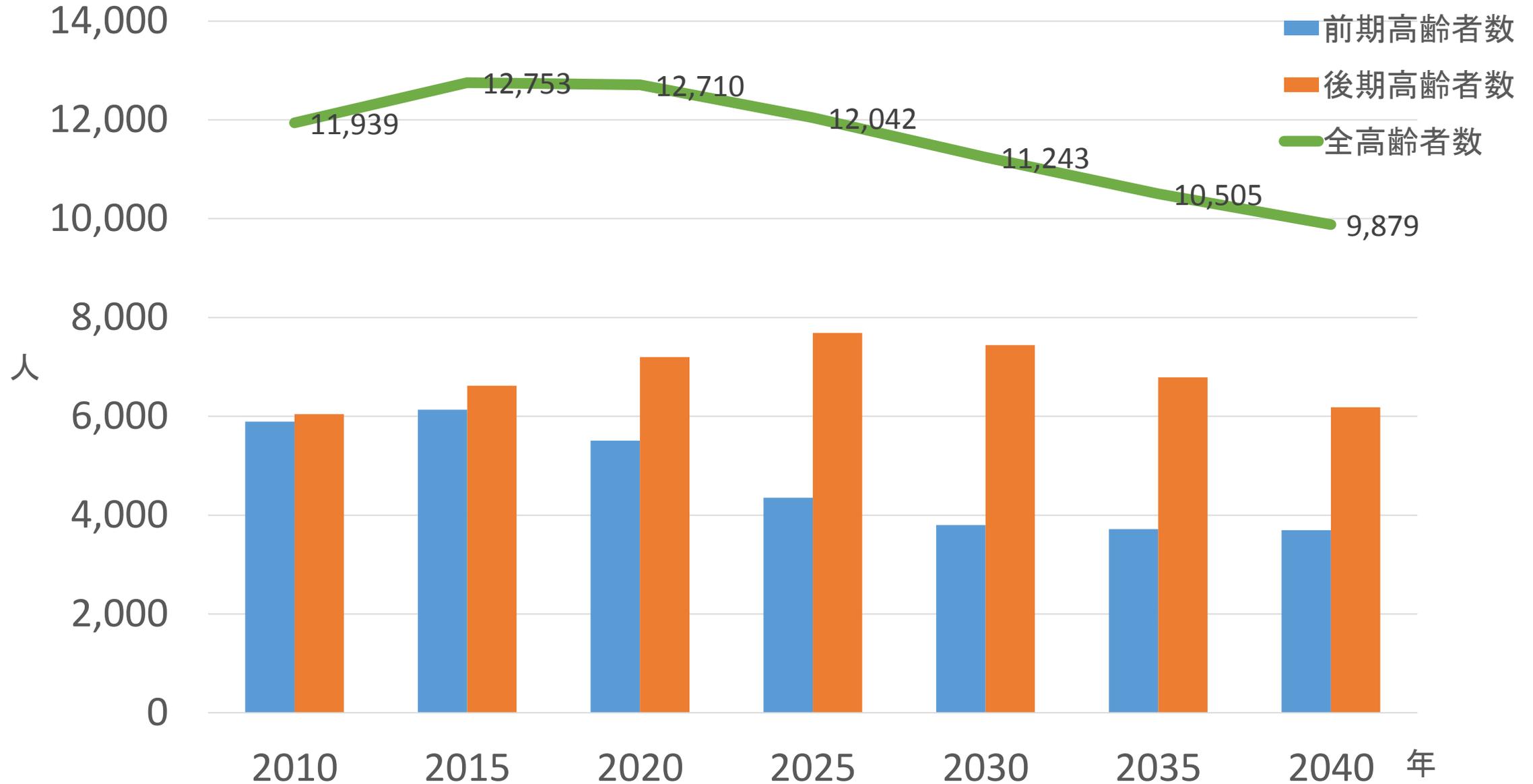
1. 備前市の高齢者人口

備前市の将来人口の推計



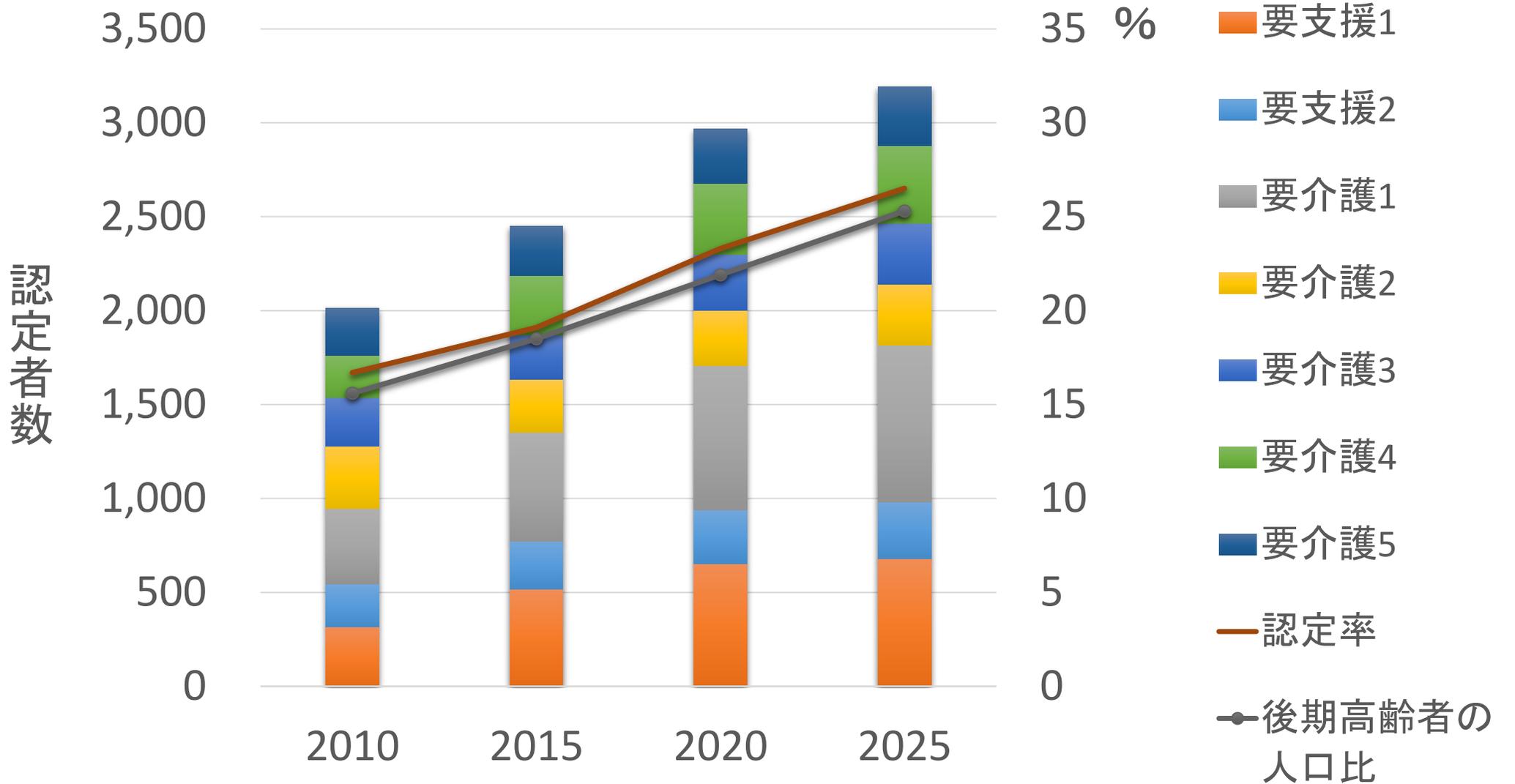
『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)

備前市の高齢者数の推計



『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)

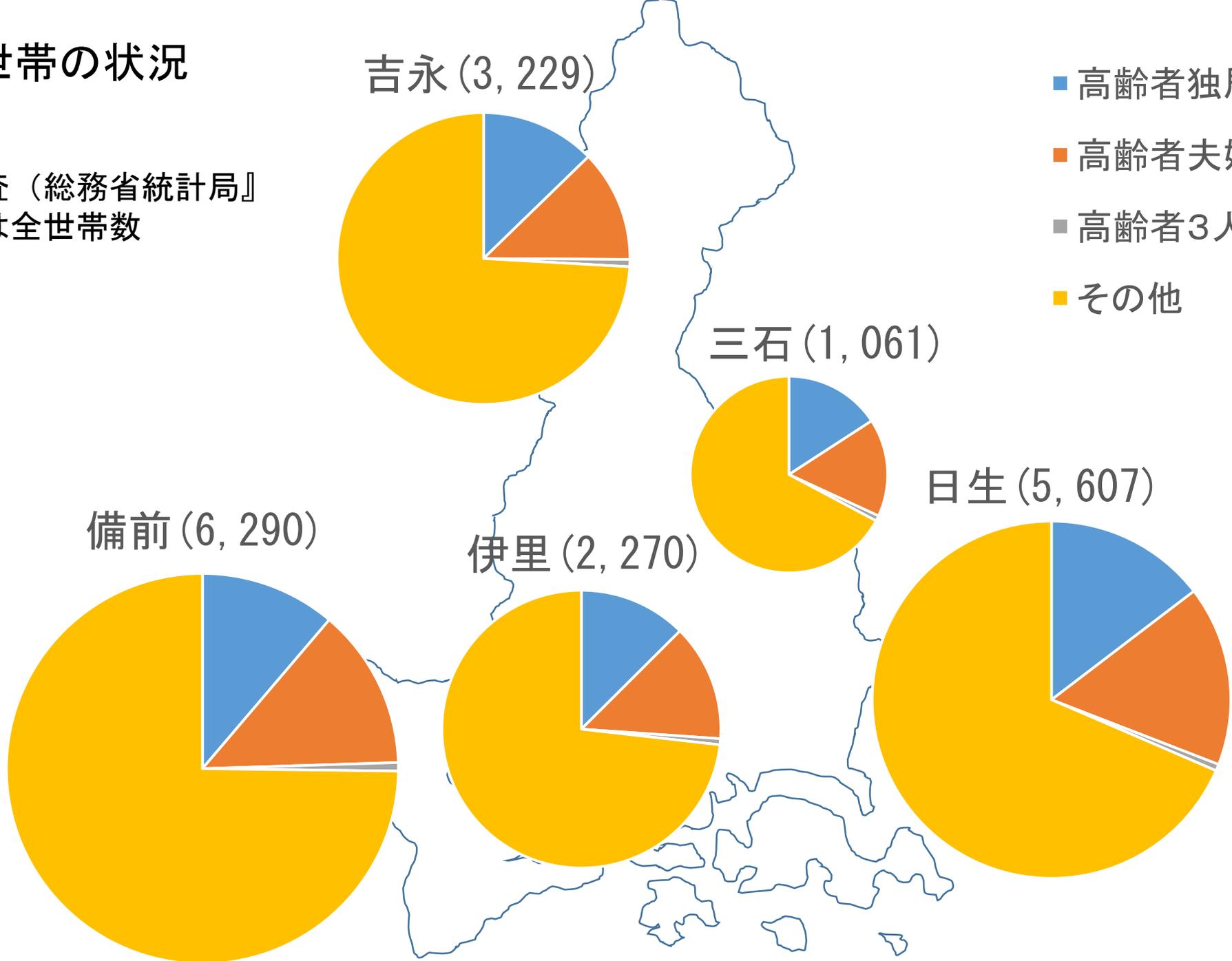
要介護認定者数の推移



高齢者のみ世帯の状況

『平成22年国勢調査（総務省統計局）』
※カッコ内数字は全世帯数

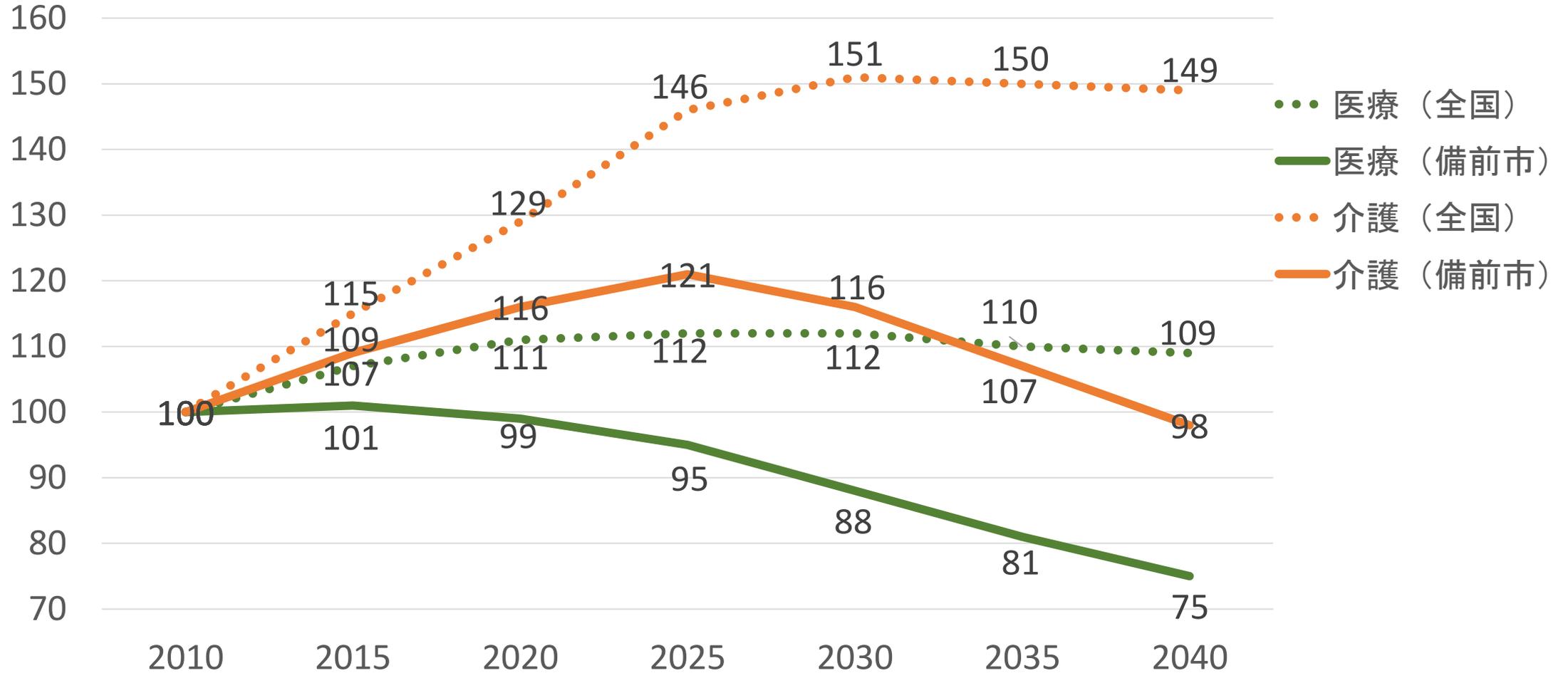
- 高齢者独居
- 高齢者夫婦のみ
- 高齢者3人以上
- その他



2. 備前市の医療資源と介護資源

医療と介護の需要予測

2010年の需要量=100として指数化

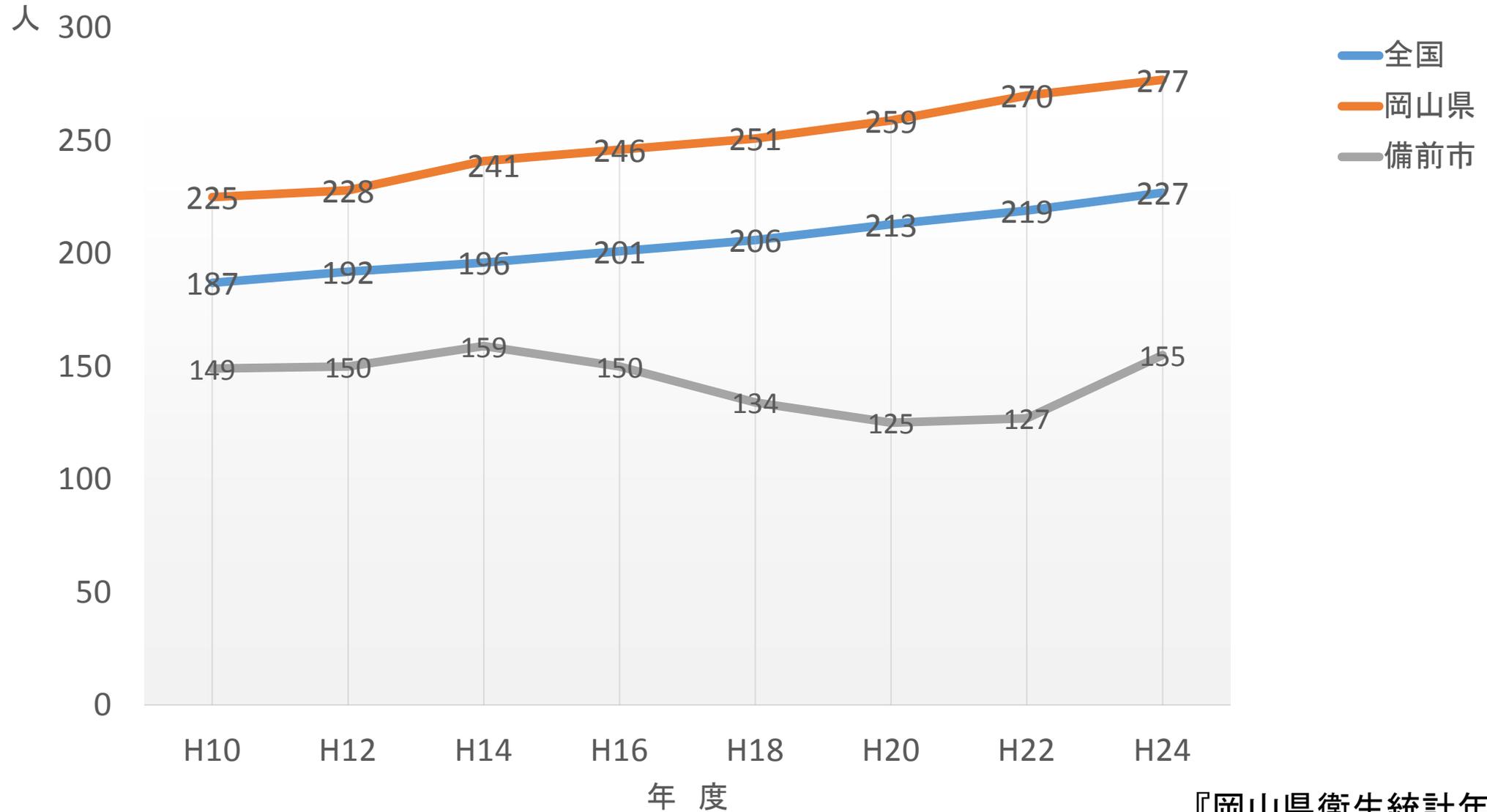


備前市の主な医療資源

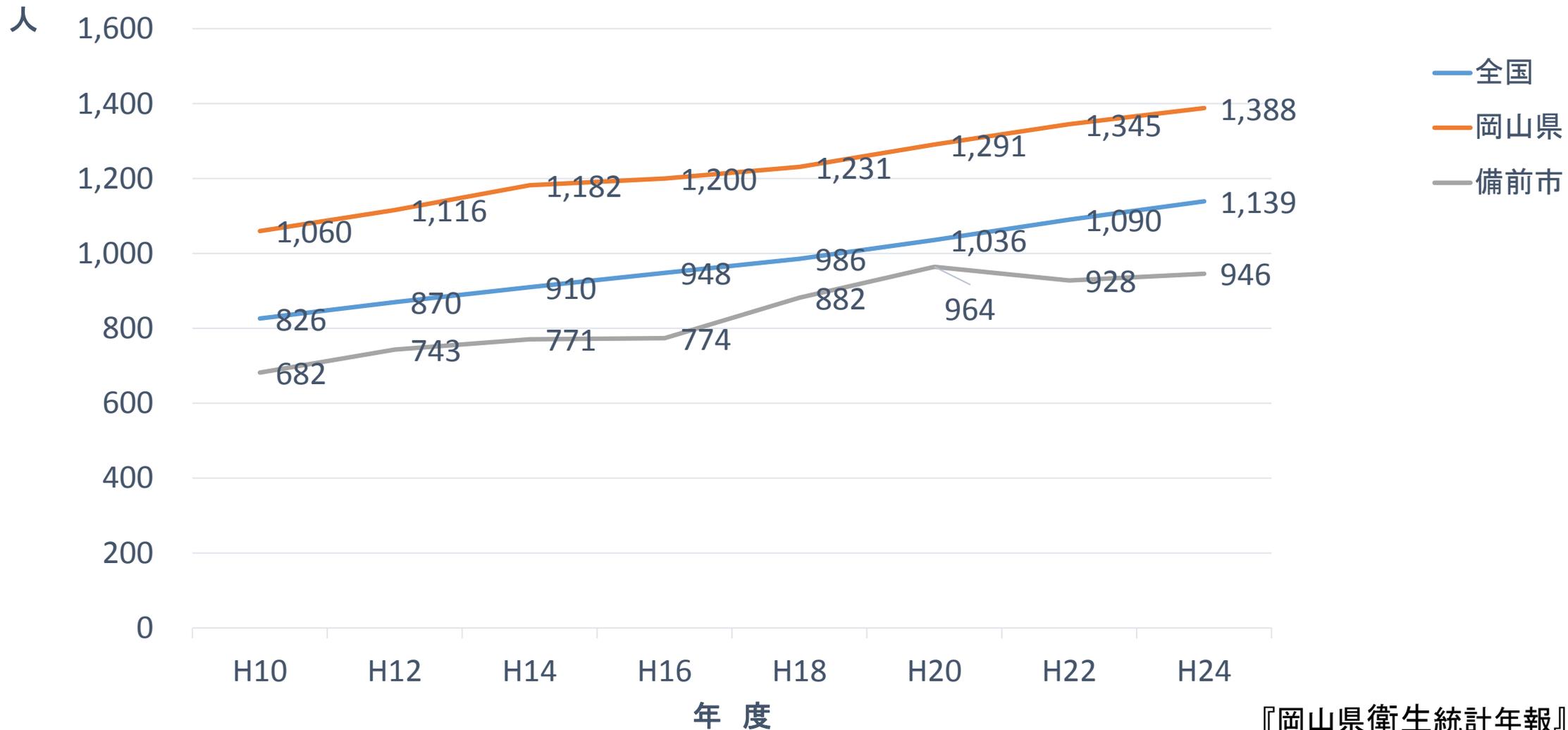
	備前市	人口当たりの比較	
		対岡山県比	対全国比
病院数	4	125.4%	159.7%
病院病床数	316	56.4%	68.8%
一般	184	51.6%	69.7%
療養型	132	142.6%	139.1%
診療所数	23	85.6%	88.8%
医師数（常勤換算）	32.7	42.4%	55.1%
看護師数（常勤換算）	182.1	55.1%	69.8%

『地域医療情報システム（日本医師会）』を参考

人口10万人当たりの医師数



人口10万人当たりの看護師数



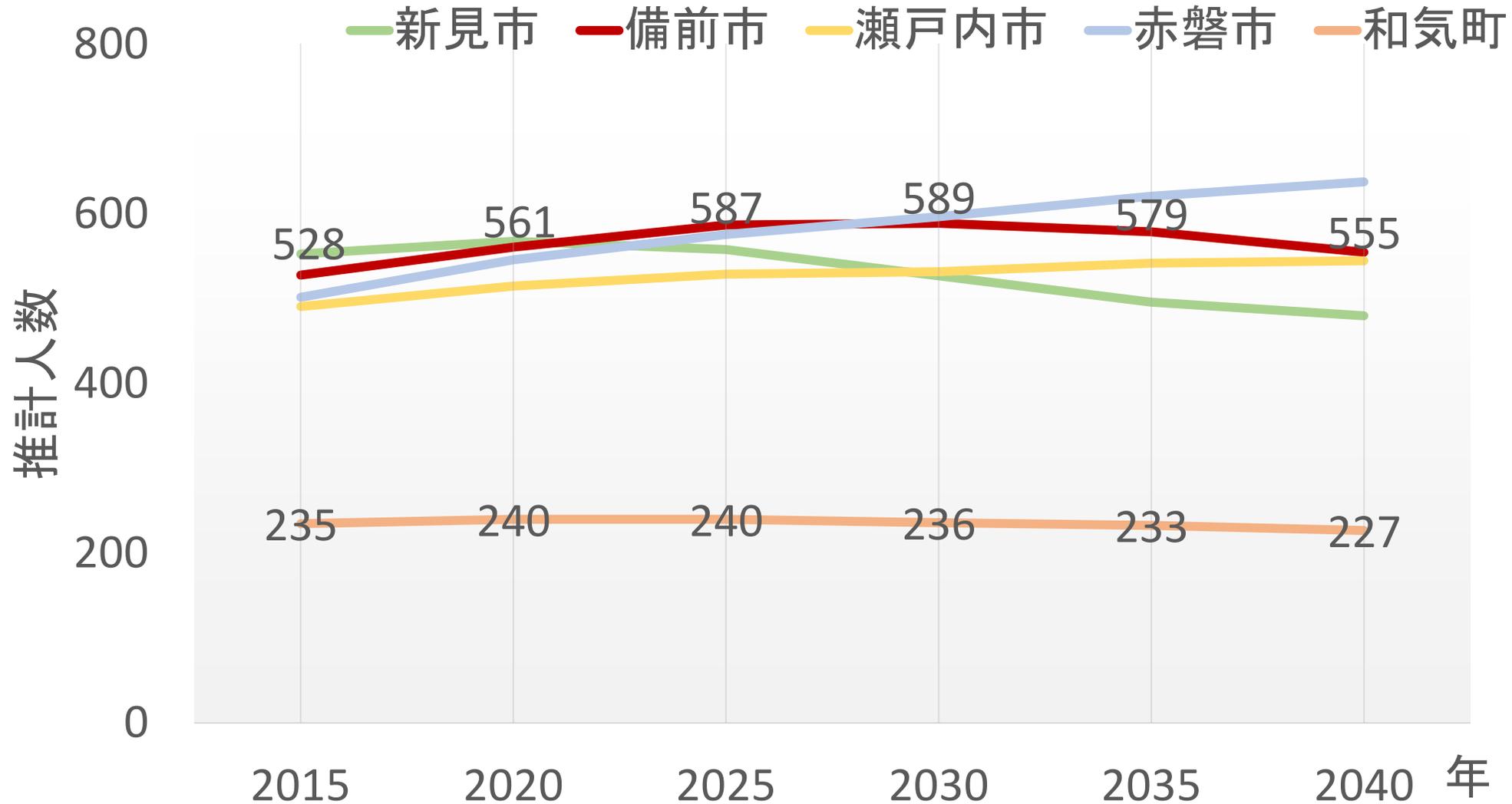
備前市の主な介護資源

	備前市	75歳以上人口当たりの比較	
		対岡山県比	対全国比
訪問型サービス事業所数 (訪問介護・訪問看護・訪問入浴・訪問リハ等)	11	63.2%	57.8%
通所型サービス事業所数 (デイサービス・デイケア等)	19	80.3%	89.7%
入所・居住系施設数 (特養・老健・グループホーム・小規模多機能等)	19	100.3%	145.4%
特定施設数 (介護付有料老人ホーム等)	3	116.3%	166.7%
居宅介護支援事業所 (ケアマネジメント業務)	13	85.0%	84.6%

2025年の施設・居住系施設需要と整備量の見込み

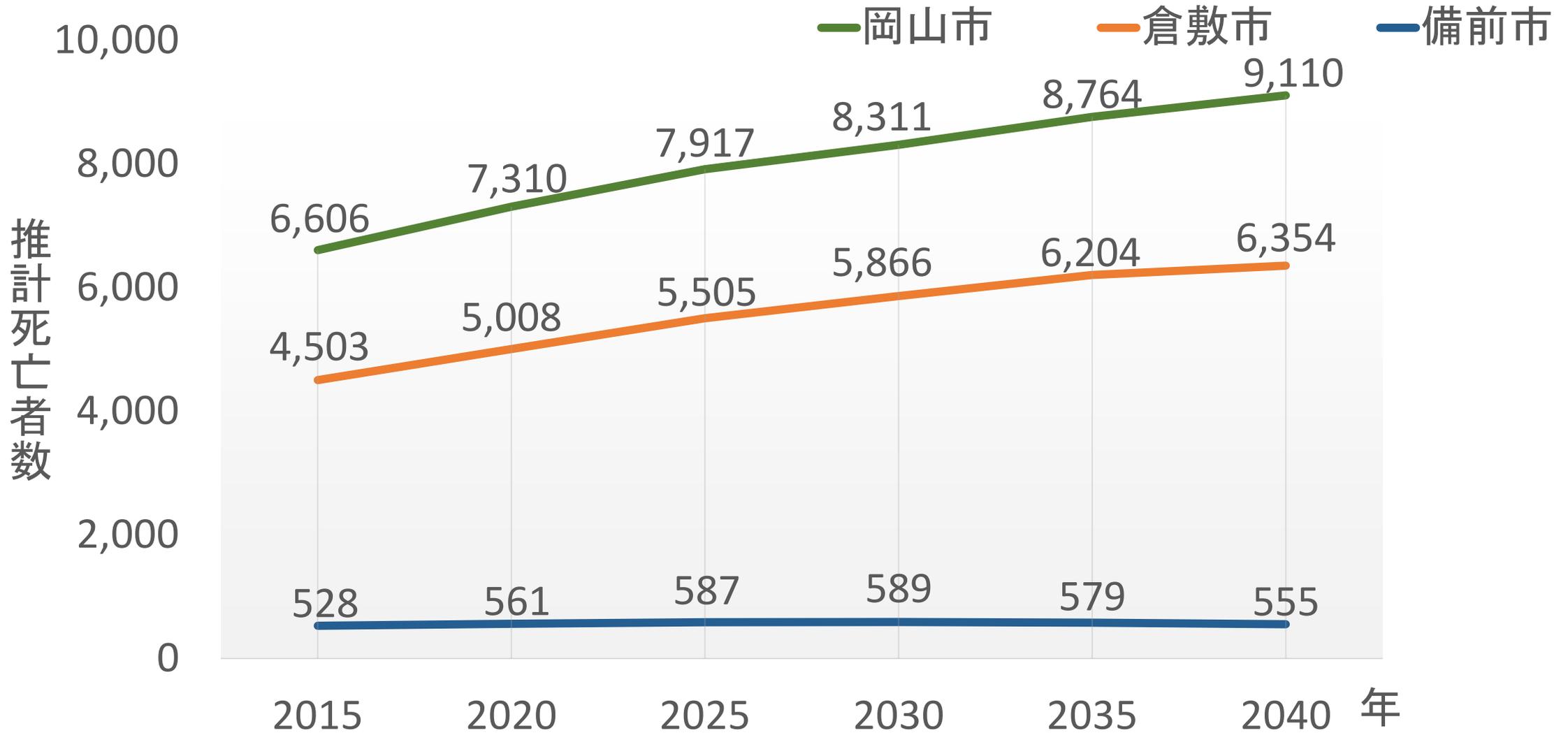
	サービス需要見込(人/月)		2025年 整備見込②	充足率 ②/①×100
	2015年	2025年①		
特別養護老人ホーム	315	387	337	87.1%
老人保健施設	183	205	177	86.3%
グループホーム	74	73	71	97.3%
介護付有料老人 ホーム等	128	168	143	85.1%
計	700	833	728	87.4%

年間死亡者数の推計



国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』をもとに、出生と死亡だけの要因で人口が変化すると仮定した推計法により算出した参考値

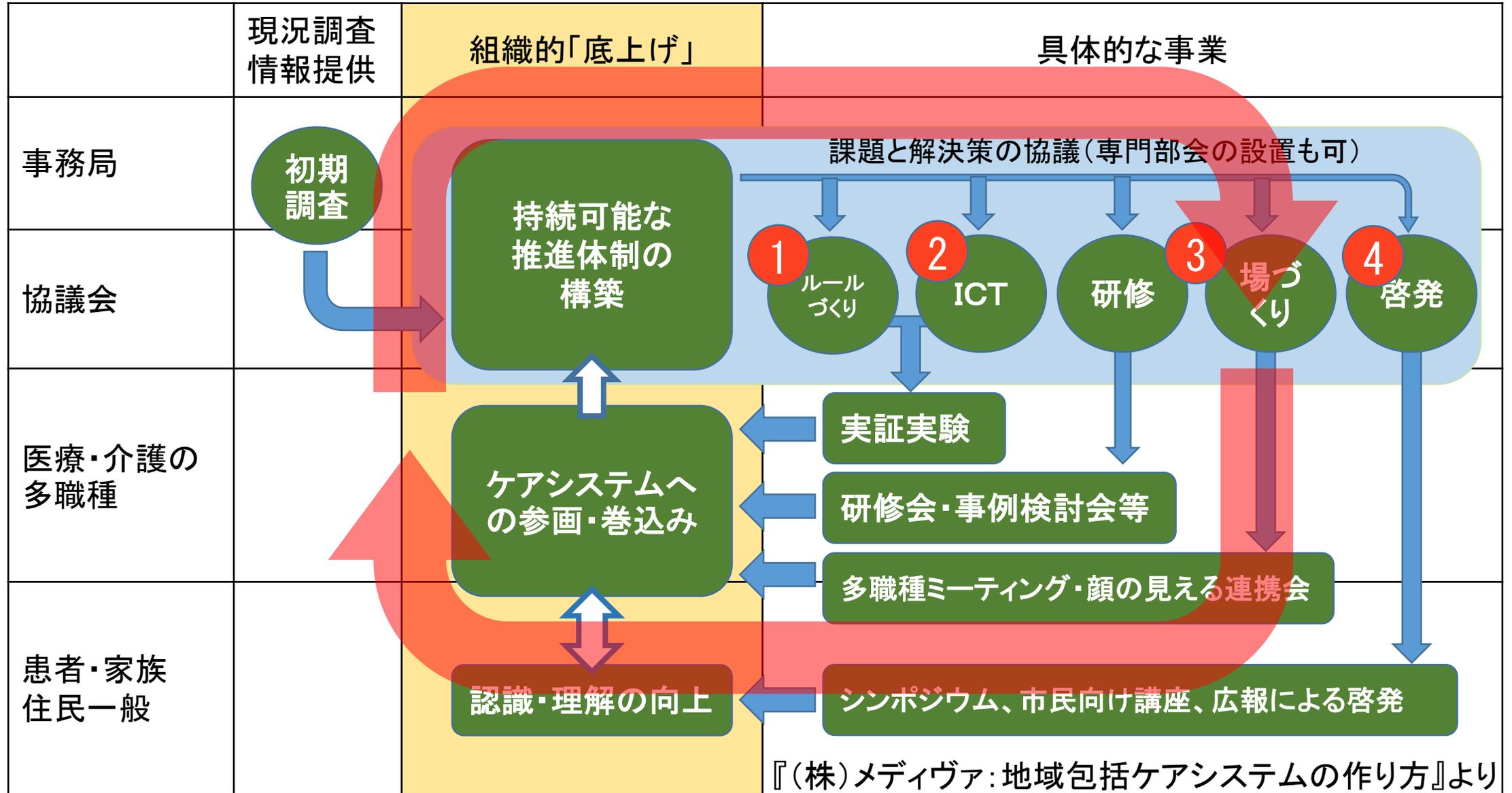
年間死亡者数の推計



国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』をもとに、出生と死亡だけの要因で人口が変化すると仮定した推計法により算出した参考値

3. 備前市の医療・介護連携の推進体制

在宅医療・介護連携推進のイメージ



1 在宅医療・介護の連携ルールづくり

自立期	退院⇒在宅復帰	日常の療養	急変時	看取り
<p>A 予防/早期 発見の連携 対応ルール</p>	<p>B 退院⇒在宅復帰における 多職種連携のルール化</p>	<p>C 医科⇔歯科連携 医⇔薬連携</p>	<p>E バックベッドの確保モデル</p> <p>D グループ診モデルの構築 (主治医・副主治医制)</p>	<p>F リビングウィル確認の ルール化 (患者・家族)</p>

3

-1 顔の見える関係づくりの場

- 多職種ミーティングの開催（備前・日生・吉永 3会場）
- 顔の見える連携会（和気医師会、エーザイ（株）との共同開催）

3 -2 多職種のスルル向上研修

- ・介護職に医療研修、医療職に介護研修
- ・どのような研修が効果的かを協議

⇒専門部会・協力事業所・市で企画してはどうか

4

住民への普及啓発

- 在宅医療推進講演会

日時：平成28年9月22日（木）祝：秋分の日 13:30～15:30

場所：リフレセンターびぜん 体育室

演題：「穏やかな最期をむかえるために」

講師：世田谷区立特別養護老人ホーム 芦花ホーム

医師 石飛幸三 先生

- リビングウィルに関する啓発活動

2

多職種連携にICTを活用

- 安全性の高い情報管理・通信機能を備えていること
- 操作性が高く、低コストで参加できること
(導入済の市町村の運用ルールが参考にできる)

⇒ 実証実験・専門部会での運用ルールの研究

協議会の構成(案)

備前市在宅医療・介護連携推進協議会の3つの専門部会

病診連携推進部会

◆急変時の在宅療養者を24時間対応で受け入れる在宅後方支援病院と地域の診療所との連携・連絡体制の構築

ICT連携部会

◆ICTを活用した情報共有の実証実験、利用にあたっての備前市ルール検討、実務研修の企画等

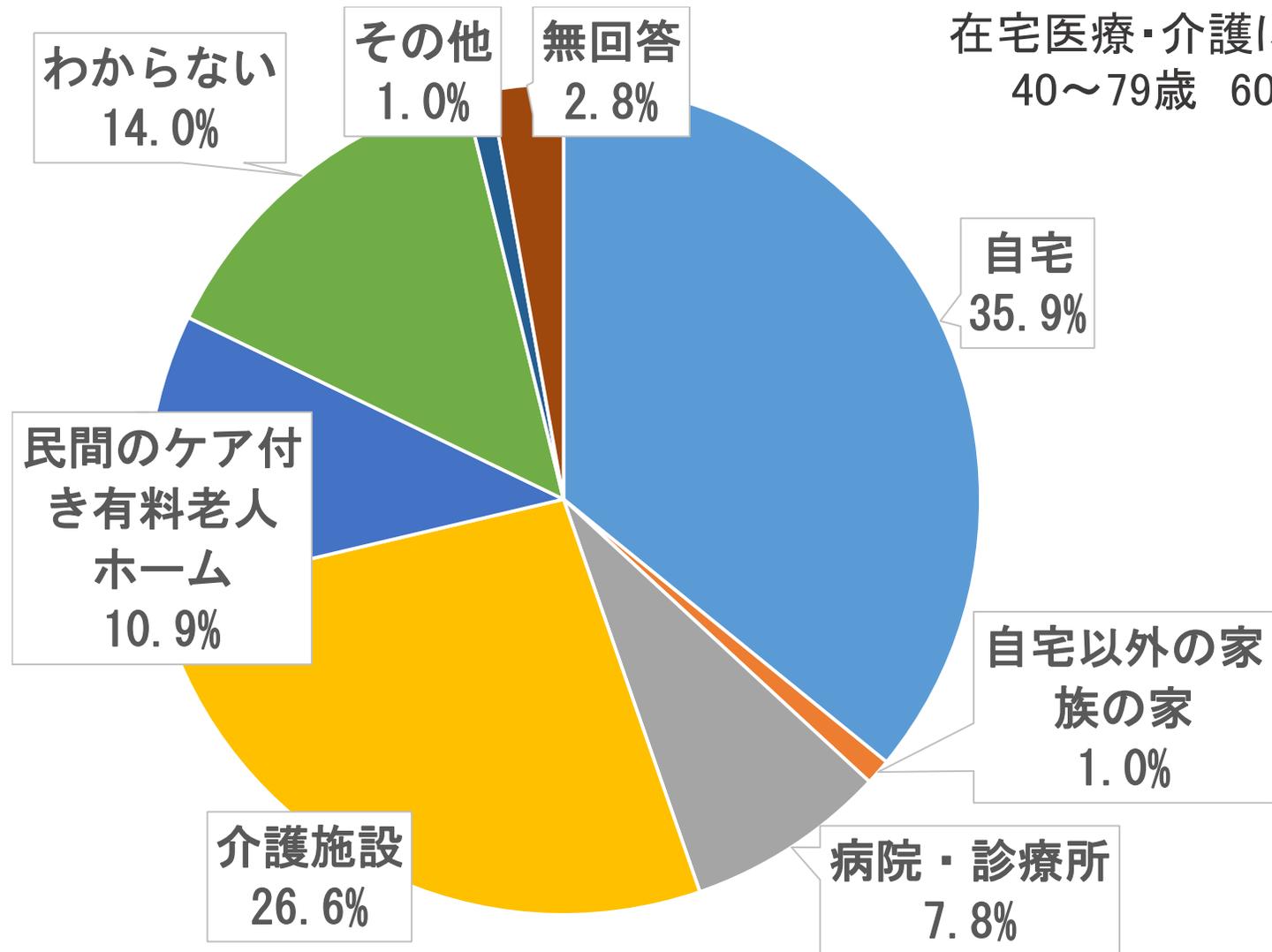
多職種研修・普及啓発部会

◆多職種ミーティング・専門職研修・住民啓発講演会の企画等

4. 市民の意向と施設看取りの実態

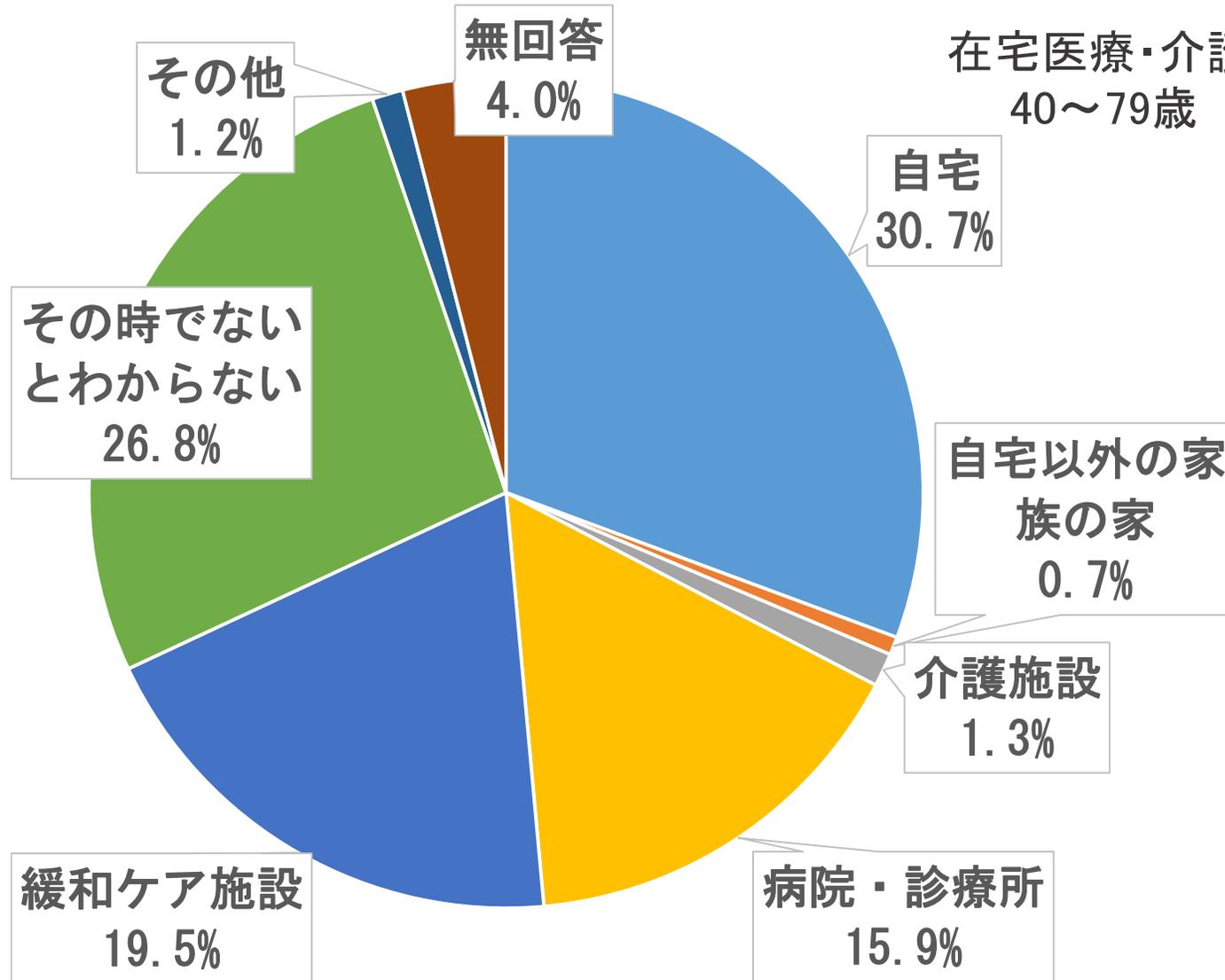
Q. 高齢になって医療と介護の手助けが必要になったとき、 どこで暮らしたいですか。

在宅医療・介護に関する調査(H28.3備前市)
40～79歳 605人



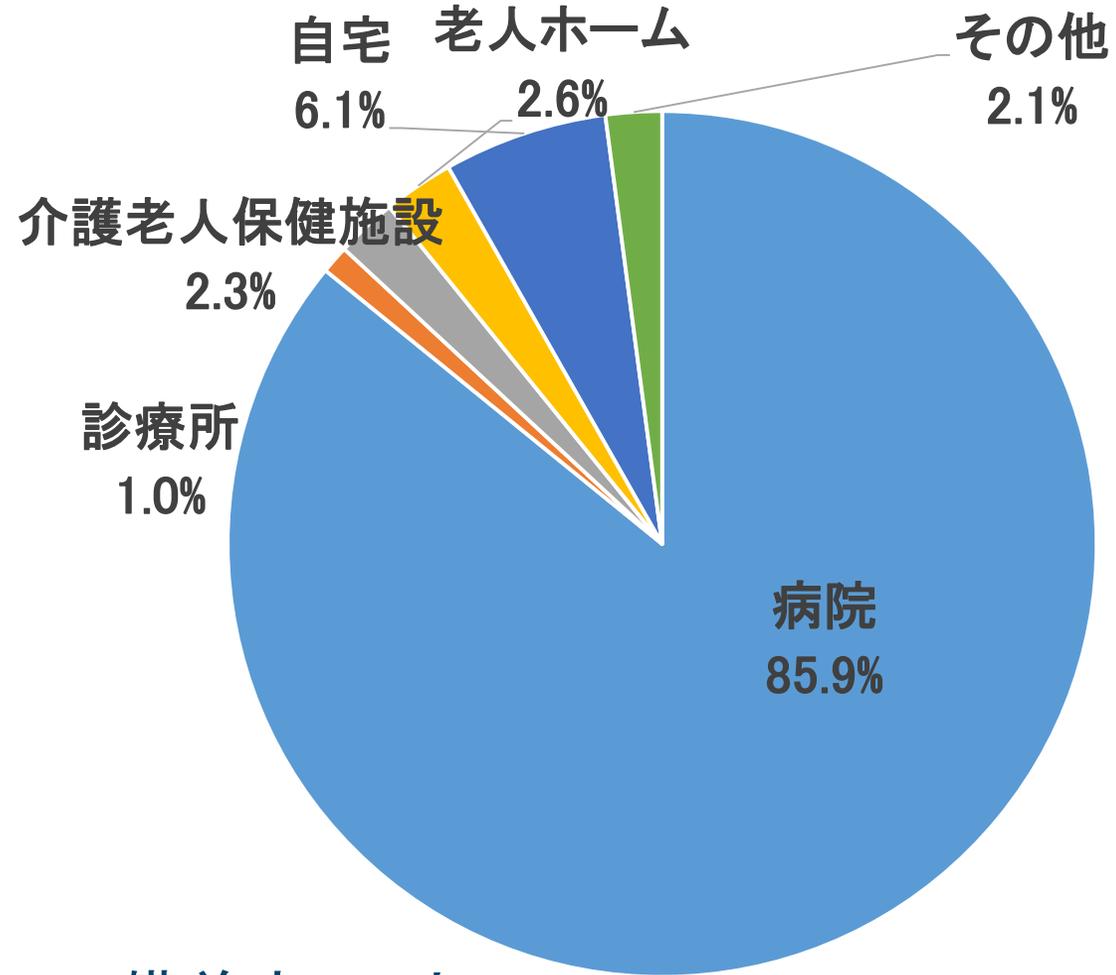
Q. 終末期にどこで最期を迎えたいですか。

在宅医療・介護に関する調査(H28.3備前市)
40～79歳 605人



平成25年の死亡場所

出典:岡山県人口動態統計表(平成25年)



備前市574人

施設看取りの実態調査

H28.3 実施

特: 特別養護老人ホーム
健: 介護老人保健施設
有: 介護付有料老人ホーム
G: グループホーム
小: 小規模多機能型居宅介護
養: 養護老人ホーム

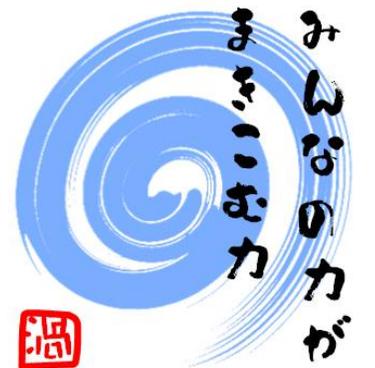
● : 協力(嘱託)医療機関



平成28年7月4日(月)

備前市保健福祉部医療福祉連携課

ICTを活用した多職種情報共有について



晴れやかネットの概要

項目	基本機能	拡張機能
目的	医療機関間の電子カルテ情報の共有	多職種間の患者情報の共有・連絡
システムの所有	一般社団法人 医療ネットワーク岡山協議会	岡山県
対象職種	医師・歯科医師・薬剤師	医療・介護等の多職種
導入経費(入会金)	12万円・15万円(閲覧施設)	無料※1
月額費用(会費)	5千円	無料※2
パソコン・インターネット環境が未整備の場合	実費	実費
県内参加施設数	開示:51施設 閲覧430施設 (H28.4.30)	224施設 (H28.5.20)
市内参加施設数	開示:3施設 閲覧7施設	0施設

※1 H28は岡山県が全額補助 ※2 H28は岡山県が全額補助、協議会移管後は月額500円程度発生の見込み